

## 第5回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会（要旨）

平成25年11月2日（土）

午前10時から正午まで

府中市役所北庁舎3階会議室

- 1 出席委員 22人
- 2 欠席委員 3人
- 3 事務局 政策総務部政策課長 古森、  
庁舎建設担当副主幹 茂木、庁舎建設担当主査 伊橋  
（株）日本設計 成田、佐藤、村瀬
- 4 傍聴者 2名
- 5 議事 前回のまとめ  
グループディスカッション
  - 手続きが分かりやすい窓口にするために
  - 身近な存在の窓口にするために
  - 待ち時間も有効に過ごせる市庁舎その他
- 6 資料 資料1 第5回市民検討協議会グループディスカッションテーマ  
資料2 庁舎建設ふちゅうかわら版（第3号）  
資料3 免震構造について

## 【要旨】

- 茂木 第5回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会を始めます。  
委員定数25人中20人が出席しており、過半数を超えているため本協議会は有効に成立します。(後に2名到着)  
傍聴希望者がいらっしゃるので、傍聴を許可してもよろしいでしょうか。  
(※良いとの声あり。傍聴者入室)  
(※配布資料の確認)

### 1 前回のまとめ

#### 伊橋 【前回のまとめ】

- ・ 「～個性ある新庁舎ふちゅうで実現～防災拠点としての新庁舎」をメインテーマとし①東日本大震災の際、市民の目線で感じたこと、②新しい庁舎において検討、改善するべきことという2つのテーマでディスカッションを行った。
- ・ ア避難経路、イ避難訓練、ウ災害情報、エその他の4つのキーワードをヒントに検討した。

#### ア 避難経路

東日本大震災の際、市民の目線で感じたこと

- ・ 避難経路や避難場所がわからなかった。
- ・ ハザードマップを見たことがなかった。
- ・ 自宅や学校から避難場所までの安全な避難経路の確保が大事。
- ・ エレベーターが停止し、障がい者の方が困っていた。

新しい庁舎において、検討・改善するべきこと

- ・ 避難場所を明確にすること、避難経路も分かりやすく明示すること、災害時のことも考え、通路や階段などを広めに計画することが大事。

#### イ 避難訓練

東日本大震災の際、市民の目線で感じたこと

- ・ 救助体制の弱さを実感した
- ・ 災害時に実効性のある避難訓練の実施が必要。

新しい庁舎において検討、改善するべきこと

- ・ 庁舎を中心とした避難訓練の実施。
- ・ 市民・職員の合同の避難訓練を突発的にやってはどうか。
- ・ 小中学校や消防、警察などと連携を図り、また合同で訓練してはどうか。
- ・ 防災教育の強化ということで、庁舎内で防災情報をアピールしてはどうか。

#### ウ 災害情報

東日本大震災の際、市民の目線で感じたこと

- ・ 防災無線による情報が聞き取りにくかった。
- ・ 高齢者や障がい者の方など、情報弱者とならないような工夫が必要である。
- ・ そもそも災害時、市に頼るといった感じがなかった。

新しい庁舎において検討、改善すべきこと

- ・ 地震時、すぐに建物内での誘導ができる仕組みとする。
- ・ 正確な情報を市民へ発信するシステムが必要。
- ・ 市全体の状況が各文化センターでわかるよう連携を図る。

## エ その他

東日本大震災の際、市民の目線で感じたこと

- ・ 市民一人ひとりの災害に対する意識を高めることが大切。
- ・ 市職員は高齢者の多い地区や土地の条件など、地域の特徴を知る必要がある。
- ・ 携帯電話やメールが繋がらない、食料や電池が無くなった。

新しい庁舎において検討、改善すべきこと

- ・ 免震構造とし、しっかりと安全性を確保する。
- ・ 災害対策本部を庁舎内に設置する。
- ・ 災害時には庁舎内に簡易的な病室が設置できるようにする。
- ・ 事業継続計画、地域防災計画に基づいた計画の立案が必要。

茂木 【免震構造についての補足説明】

- ・ 前回、免震構造についての質問が出たので、その補足説明をする。

日本設計 佐藤 (※資料3 参照)

- ・ 前回の協議会で直下型地震に対する免震構造の安全性について質問が出た。
- ・ 直下型地震に対しても免震構造の採用により安全な設計が可能となる。
- ・ 建築基準法では地震波の大きさと地震波の位相特性が定められており、直下型地震においても検討することとなっている。
- ・ 免震構造に関しては水平移動に関して有効で、上下動に関しては効果の差はない。免震構造、耐震構造、制震構造のいずれの構造を採用しても、安全が確保されるよう検討を行う。
- ・ 参考に、上下動に対して効果を発揮するものとして3D免震がある。採用事例としては小規模の集合住宅で、実験的な建物として採用されている。庁舎等で採用されている事例はなく、その理由としては高額であることが挙げられる。大規模な施設で採用するとなるとかなりの費用が発生することとなる。
- ・ 免震構造と耐震構造のライフサイクルコストについて説明する。ライフサイクルコストとは、建物が生まれてから解体されるまでの費用のことである。基準級（耐震構造）、上級（制震構造）、特級（免震構造）別に、供用期間を50年とした場合の費用の割合を示した（資料3 グラフ参照）。
- ・ 建設費については、免震構造、耐震構造、制震構造で若干の差がある。大地震が起きた際、被害を受けた際に修復費がかかる。それらを合算すると、耐震構

造は多額の補修費用がかかることとなり、今回の場合比較とならない。制震構造と免震構造で比較した場合、制震構造のほうが免震構造よりも5%程度多く費用がかかる。

- ・ 前回の質問の中で、メンテナンス費についての質問が出たが、全体の建設費から比べると非常に小さな金額となる。
- ・ 免震構造で年に一回定期点検をした場合であっても、制震構造よりも免震構造のほうが5%程度少ないことは変わらない。

茂木 ・ ライフサイクルコストについては、大地震が起きた場合の想定である。大地震が起きなければ、耐震構造の修復費はグラフのようにはかからない。ただ、報道されているように、ここ何十年かのうちに東日本大震災のような大規模な地震が東京を襲うかもしれないということを考えると、この先50年、100年使っていく庁舎において、免震構造は一つの手段としては良い方法なのではないかと考えている。

茂木 【前回の議事録の確認】

(※議事録に関する訂正事項等：無し)

(※次第1の中での質問)

委員 【質問1】

- ・ スライドに災害対策本部を新庁舎内に設置すると書かれていた。現在は府中駅北口にある中央防災センター3階を災害対策本部とすることとなっていると思うが、新庁舎ができた後は災害対策本部を新庁舎内に設置するということか。

茂木 ・ 現在、中央防災センターは災害対策本部が設置されるようなつくりとなっているが、庁舎を新しくする上で今まで通り中央防災センターに災害対策本部を設置することが良いことなのか検討する必要がある。

委員 ・ 市長や幹部職員がぞろぞろと歩いて中央防災センターまで行くのは、ものが倒れているなどのリスクも想定され、非常に不便であると考えます。

- ・ 新庁舎内に災害対策本部を設置することは賛成である。これはすでに決定事項となっているのか、それとも現状のまま中央防災センターを使用するのか。

茂木 ・ 災害が起こった際には、職員が中央防災センターに移動しなければならないのが現状である。リスクや不便さを避けるためにも新庁舎内に災害対策本部、またはそれに変わる体制がとれるようなつくりにはできないかという検討は今後しなければならない。

- ・ 現段階では、災害対策本部は中央防災センターに開設するという考えである。

委員 【質問2】

- ・ 阪神淡路大震災は断層地震と言われており、直下型とも言われている。先ほど3D免震という話があったが、阪神淡路大震災の時にも制震構造はいくつかのビルで採用されていた。制震構造が破断したという事例もあった。制震構造が破断することは仕方のないことだと思うが、免震構造において直下型の地震で甚大な被害を受けたというような例があれば教えていただきたい。

日本設計 佐藤 ・ 次回までに調べて報告する。

## 2 グループディスカッションについて

日本設計 佐藤 【今回のテーマについて】

- ・ 今回の大きなテーマとして、「市と市民を身近につなぐ窓口」ということで、3つのテーマでディスカッション頂きたい。
- ・ ア：手続きが分かりやすい窓口にするために
- ・ イ：身近な存在の窓口にするために
- ・ ウ：待ち時間も有効に過ごせる市庁舎

伊橋 【職員から出ている現状の問題点】

- ・ 職員検討会で同様のテーマで検討を行った。そこで出された、現状の問題点について紹介する。
- ・ 手続きや窓口については、機能の分散化や庁舎内の狭隘化が進んでいるということもあり、各課に手続きが分かれてしまい、市民がたらいまわしとなる。また、窓口には市民の方が来ても職員がそれに気付きにくい配置となっている。
- ・ 相談スペースについてはプライバシーに配慮されていない。スペースを広く確保できれば、工夫できると思うが狭いことが障壁となりプライバシーへの配慮が困難である。
- ・ 待合いについては、お待たせしないということを原則として行っているが、待たせてしまう場合に市民が時間を有効に過ごす方法が無い。

日本設計 佐藤 【窓口形態について】

- ・ 受付、窓口業務の形態ということで、府中市の新しい窓口の形を模索していきたいと考えている。
- ・ 大きく分けて3つのタイプの窓口がある。

(※スライド図参照)

### A 窓口を集約

- ・ 窓口を集約するいわゆるワンフロアサービスというものである。関連課を近くに配置し、待合スペースもまとまったスペースを確保することで市民の移動が少ない形態である。多くの自治体で実施されている。

### B 窓口を一本化

- ・ 総合窓口には、あらゆる手続きに対応できる知識が豊富な職員がおり、その奥に関連する課が配置され、市民は移動することなくひとつの総合窓口ですべての手続きを完了することができる。ただし、待ち時間が長くなるデメリットがある。千葉県の上野市などで実施されている。

### C ネットワークを活用

- ・ Bを発展させ、総合窓口と各課のやりとりを人ではなくデータで行う形態である。

## 【窓口事例について】

分かりやすさに寄与する工夫

- ・ 人による案内（コンシェルジュ）の事例紹介。

（※甲府市、小牧市、町田市、立川市）

建物入口で施設内のどの階で手続き可能かなどを案内する

- ・ 表示・案内の事例紹介

（※長岡市、青梅市、福島市、町田市）

手続きによる案内表示とする例（長岡市）、分かりやすい色と少ない文字数でのサインの例(町田)など。

身近な存在となる相談スペース （※町田市、小牧市、立川市）

相談内容によって、オープンカウンター、仕切り有りのカウンター、個室の相談室を使い分けられる例

待合い、スペース活用の事例 （※甲府市、小牧市、町田市、長岡市）

待っている時間も有効に過ごせるように、パンフレットや資料を閲覧出来るコーナーを設けている例

茂木

- ・ 窓口に関するテーマは職員検討会でも議論している。
- ・ 相談室については現在、個室がないため隣の人に話を聞かれてしまうために、相談を受けにくいという話や、子育て関係の部署であると子供連れで来て手続きする際に、キッズコーナーなど少し遊ばせてくれるようなスペースがあればストレスも少ないのではという意見が非常に多く出た。
- ・ そういった職員の意見も踏まえ、議論して頂きたい。
- ・ また、以前、来庁者のアンケートを実施し来庁目的の9割以上が戸籍や住民票、税関係であるという話をした。また、既にテーマとして議論が済んでいるユニバーサルデザインについての意見も、踏まえたうえで議論して頂きたい。

(※次第1の中での質問：無し)

(※グループディスカッションスタート 50分)

(※各グループの発表)

## 2G 【テーマ 1】

- ・ 窓口がはっきりわかるよう、課や手続き内容によって色分けをしてほしい。同じ色で表示されていると、わかりづらい。
- ・ 税金や保険料など、支払いに関する窓口は同じ窓口にとまとめると良い。
- ・ 窓口業務の効率化のため、職員のバックヤードを設置することも必要。

### 【テーマ 2】

- ・ 総合窓口も良いが、個々の窓口サービスを高品質なものとするこのほうが重要である。
- ・ 経費削減などで外部委託するのではなく、定年退職者の再雇用など庁舎内に精通した人を窓口配置する。杉並区ではそういった人が5,6名いる。
- ・ 相談においては個人情報など隣の人に聞かれたくない。個室を設けてほしい。

### 【テーマ 3】

- ・ 待ち時間に、市のイベントなどをスクリーンで流すのも良い。
- ・ キッズコーナーなどで、子供を遊ばせてくれるスタッフが1名程度配置されていると良い。
- ・ 女性の視点では、待ち時間にカフェのようなくつろげる場所を設け、母親同士の情報交換もできる場所が必要ではないかという意見が出た。
- ・ 大國魂神社境内にふるさと府中歴史館があるが、そういった展示を庁舎内に設置したら良いのでは。
- ・ 相談内容を事前に伝え、予約ができるとよい。

### 1G 【テーマ 1】

- ・ 分かりやすい窓口ということで、サインをカラー表示にするという意見が出た。
- ・ 旧府中病院では床に動線が表示されていた。そういった表示もあって良いのではないか。
- ・ 案内表示を分かりやすく、大きくしてほしい。
- ・ 手続きをどこで行えばよいか分からない人のために、案内を行う部署を入口近くに配置すると良い。
- ・ 他自治体の事例が紹介されたが、それら事例の他にも、銀行や病院などを参考に待ち時間や待合スペースを考えてみてはどうか。
- ・ 府中市に対する意見となるが、関連性の強い部署があるのであれば見直しや再編を行ってはどうか。
- ・ 市民の利用頻度の少ない部署は上層階へ、多い部署は低層階に配置する。
- ・ 「わたしの便利帳」が市民に配布されていると思うが、それと窓口機能がうまく整合性をとれるように、新庁舎でもきちんとしていただければと思う。
- ・ 障がい者や高齢者関連の窓口や、子育て支援課、福祉課においては総合窓口（B窓口を一本化）が望ましい。
- ・ 案内をしてくれる係員の配置、総合案内人を配置する。
- ・ 窓口の名称を分かりやすくする。
- ・ 青梅市の例が出ていたが、整理券を発行するなど賛成である。また、待ち時間

がどの程度かかるかを知りたいので、何番の人が手続き中で、何人待っているのかというような情報が重要だと考えている。

- ・ 武蔵野赤十字病院の受付で便利だと思ったのが、病院内外の見取り図がかかれた紙に行きたい場所に印を付けて渡してもらえた。口頭での案内と、図面を使った案内をしていただいで分かりやすかった。運用面での取り組みだと思うが、市庁舎でも工夫していただけるとありがたい。

### 【テーマ 2】

- ・ メインの窓口の方々は共通のユニフォームみたいなものを着用し、市民がすぐわかるような工夫をしてみてもどうか。
- ・ 苦情の受付の専門窓口を設置してみてもどうか。
- ・ コストがどれほどかかるかは不明であるが職員の方が、手続きを案内しながら一緒にまわってくれればよい。
- ・ ワンストップサービスは職員のレベルにも関係するので、ハード面だけでは検討できないという意見が出た。
- ・ 関連する全ての手続きについて案内できる方を、複数名増やしてはどうか。数多くいたほうが、混んでいる時には有効。
- ・ 相談窓口については、隣の顔が見えないだけでなく話の内容を聞かれないよう配慮が必要ということで、先ほどいろいろな例が出ていたが、今あるような簡易の衝立のようなものではなく、銀行ほどかっちりとするわけではないと思うが、もう少し配慮していただきたい。
- ・ 深刻な相談の場合に使う、相談室を設けていただきたい。
- ・ 窓口カウンターは、もう少し低くして誰にでも対応できるようにする。車いす利用者でも直接手続きできるような窓口、記載台を用意する。

### 【テーマ 3】

- ・ 待ち時間について、あまり市民の意見に合わせる必要はないという意見も出た。その背景として、現在もそんなに待ち時間がかかっていないという意見があった。
- ・ ふるさと府中歴史館や他の施設もあるので、何でも本庁舎に設ける必要はない。
- ・ 市の課題や懸案も市民の方に考えてもらえるような情報発信をする。手続きの種類や、手続き方法、サービス情報を映像で表示する。
- ・ 混雑状況をわかるようにする。発券機のところで何人待ちかという表示をしてほしい。
- ・ 1階を広く使いワンフロア窓口とし、様々な手続きができるとうい。
- ・ 銀行や郵便局などでは雑誌などを置いている。雑誌等を置いてみるとうい。
- ・ 喫煙を推奨しているわけではないが、最近では会社でも喫煙コーナーが整備されていたりするので、喫煙所を設けてはどうか。

- ・ 待合い近くに売店を設け、府中関連商品を置くことで常設展示としても機能を果たすし利益もでるのではないか。
- ・ 青梅市の事例でも、カウンター内部の職員側には何人待ちという情報が出る仕組みになっていると思われる。職員側から現在の待合い者がどの程度いるのかを把握できるような形としてはどうか。加えて、先ほど出たオールマイティーにこなせる知識が豊富な職員が状況に応じて待合い者が多い部署に出向くなど、待ち時間をトータルで減らすような工夫ができないか。

### 3G 【テーマ 1】

- ・ 分かりやすい表示とする。
- ・ 初めて来庁した人でも自分の行いたい手続きがすぐにわかるような業務フローや、関係する部署のフローが明示されていると分かりやすい。
- ・ 府中市統計書によると婚姻が一日に 6.9 組で離婚が 1.6 組。土日も含めた平均なので、合わせて一日当たり 10 件程度。出生に関しては一日に 6.1 人。これらが、どの程度業務の待ち時間に影響するのかわからないが、一番大きいのが、転入で一日当たり 39.6 人、転出が 1 日に 40.4 人ということで、転入転出合わせると一日に 80 人は来るという計算となる。
- ・ 1 月から 12 月までの増減人口（府中市統計書 p46）をみると、3 月 4 月が最も多い。転入については 1,600 人（3 月）、1,800 人（4 月）で、待ち時間が長いというのはこのことだと思う。3 月 4 月の繁忙期に待ち時間が無い行政というのは無い。待ち時間をゼロにすることはできないという前提で話をする。
- ・ 新庁舎となり待ち時間が減った事例があるのか分からないが、来庁者の分散化が待ち時間解消となるのではないか。文化センターでは戸籍や住民票等の申請手続きができる。イメージとしては郵便局で、本局があり、各地域に分局がある。そういった業務の分散化が図れれば、自分の住んでいる一番身近なところで手続きを行うだろう。転入に関して言えば、最初は市役所へというイメージしか無いが、機能の分散化を図ることにより、待つことが減るし、手続きのしやすさという面でも効果が出るのではないか。
- ・ 多摩総合医療センターなどは IT 化が進み、待ち時間の有効活用が図れている。分かりやすい例えではフォーリスのフードコートで注文した際に番号札を受け取り、でき上がると同時にブザーがなる仕組みがあるが、そういった仕組みとすることで待たせるのではなく、待ち時間を有効に使うという一つの手法としては有効なのではないか。どれくらいのコストがかかるのかはわからないが、窓口数や人件費を増やすよりはローコストであると考えている。

### 【テーマ 2】

- ・ 来庁者にいかにやさしく対応できるかということだと思う。アトリウムのような開放的な空間や植栽を配置するなど、待たせられているという不満を感じさ

せないような雰囲気づくりが大事になってくる。

- ・ 職員教育の徹底という意見もあった。知識の豊富な職員という話も出ていたが、もっと一般的に考えると、窓口の目線など相談窓口は当然座って対応するべきであるが、書類のやり取りは立ったまま行う。そういった窓口の仕分けはできるのではないか。

#### 【テーマ 3】

- ・ 基本的には多機能にする。多目的スペースや市内企業の試飲試食コーナー、情報発信の空間をつくることにより有効に過ごせるのではないか。
- ・ コンビニの設置という意見も出た。

#### 4G 【テーマ 1】

- ・ 市民にとってはワンストップ窓口が望ましいのではないか。ただし、ワンストップ窓口にすると職員の教育が必要である点と、どこまでそれができるのかという点が問題として出てくる。
- ・ 総合案内は必要。庁舎に来た時に、まず最初に総合案内に立ち寄り、こういった用事で来たということをお案内の人に伝え、それを案内人が案内するという流れが確立されていると、次の手続きや手続きの仕方なども楽になる。そしてその案内人は明るい人で、正確であること。
- ・ 職員は明るく親切に、窓口の場所は明るく、色も材質も明るめにする。
- ・ 1階記載台に書類の書き方を案内してくれる人を配置してほしい。どう書いてよいかわからない時に、専門家がそばにいて気軽に質問できるような体制が整っていれば非常に助かる。
- ・ ワンストップやコンシェルジュなど、表現が高齢者にとってわかりにくい。案内人などわかりやすい表現に統一してほしい。
- ・ プライバシー確保のための相談室を増やしてほしい。
- ・ 電話で予約できるなど配慮してほしい。

#### 【テーマ 2】

- ・ 府中市は文化センターの活用が盛んで、他市にはない役割を担っている。そうしたことから、本庁舎の規模を縮小できるのではないか。他市と似たような規模で市庁舎を整備する必要は無いのではないか。
- ・ 窓口カウンターには相談者の顔が隠れる程度の衝立を設けてほしい。
- ・ カウンターの下に物を置けるような棚を設置していただくとありがたい。
- ・ フロア案内所に発券機がほしい。

#### 【テーマ 3】

- ・ 現庁舎 1階受付の片隅に、こういう品物があるので交換しませんかといった展

示コーナーのようなものがある。それを現在よりも活用しやすく、目に付きやすい場所においてほしい。

- ・ 行政資料や月間、週間のイベントPRに使用してはどうかという意見が出たが、反対に待合いスペースは展示場ではないという意見も出た。
- ・ 市民の啓発資料を置いてほしい。
- ・ 待合いスペースにはコマーシャルも入るディスプレイを設置し、広告料を取ってはどうかという意見も出た。
- ・ 待合いのソファであるが、ふかふかのソファであると腰を痛めるので、そういったものでないものの方が良い。また、そこに長居されても困るというような意見も出た。
- ・ 市議会などの、議会中継が見られたら良いのではないかという意見が出た。

#### 茂木 【グループディスカッションへのコメント】

- ・ 本日もたくさんの意見を頂いた。
- ・ 各グループ同じ話題もあれば、そうでない独自の意見もあり、3グループでは人口推移など統計書に基づいた意見も頂いた。今後庁舎を建てる上で、市民の動きなど分析していかなければならないと感じた。
- ・ 1グループの意見で、関連性の高い部署を集めてワンフロアとするという意見が出た。今までは組織改正で新しくできた部署をどこに配置するかという検討は机上で行っており、具体的に数値化するなどの分析をしていない。
- ・ 関連性の強い部署を近くに配置することは市民、職員どちらにとっても移動が少なくなるというメリットがある。
- ・ 現在、庁内全体でどの部署と関連が強いのかということ进行调查している。
- ・ 職員の立場から、業務上関連性の強いところと、市民が手続きをする際に関連性の強いところという2つに分けた調査である。
- ・ その内容は庁舎建設に活用していきたいと考えている。その関連性だけでなく、市民の動線も含めて考えていくことが必要なのではないかと感じている。
- ・ 混雑状況がわかるようにという意見もあった。現在、総合窓口課では混雑状況を携帯電話でお知らせするサービスを行っている（混雑情報提供サービス）。そういったサービスも併用し、待ち時間を有効活用していただけるような仕組みをさらに推進していく。

(※各グループの発表を聞いて何か質問や意見等あるか：無し)

### 3 その他

- 茂木
- ・ 次回は11月16日（土）午前10時から、ふるさと府中歴史館3階会議室で行う。
  - ・ 検討協議会も残り2回となった。最終的には第一回からそれぞれのテーマに沿っていただいている意見をまとめ、庁舎を建設する上で配慮してほしいという

内容を市長へ提言書として提出する。

- ・ 次回の第6回では、今まで頂いた意見を踏まえた提言書のたたき台を用意し、今までの発言と整合しているかどうか、発言した意見がどの部分に反映されているのかという点を確認していただき、最終的に提言書をまとめたいと思っている。
- ・ 職員検討会でも様々なテーマを設け、様々な意見が出ている。その意見も次回紹介する。
- ・ 次回は具体的なテーマを設定しないので、職員の意見も踏まえ新しい庁舎を建てる上で言い足りなかった部分など意見を頂きたいと考えている。
- ・ 最終回である第7回では、第6回で頂いた意見も踏まえた提言書をまとめ、市長へ提出する提言書の内容の最終確認を行う。
- ・ 次回の開催まで期間が短いことから提言書のたたき台も場合によっては事前送付することができないかもしれない。その点、ご了承いただきたい。

(※全体を通しての質問・意見等あるか)

委員 【質問3】

- ・ 冒頭で100年使うという言葉が出たが、コンクリート造なので50年程度であると思っている。府中市としては50年先の人口推移を考えているのか、わかれば資料を頂きたい。

茂木

- ・ 50年先まで算出しているかどうかはわからない。第6次総合計画をまとめており、そこで50年先に近い人口推移が示されているので、次回資料としてお出しする。

委員 【質問4】

- ・ 資料3に免震構造は水平移動に対して有効であるが、上下動に対して効果を発揮しないと記載してあるが、全然効果を発揮しないのか。効果を発揮しないということは、上下動については耐震構造も免震構造も同じという意味か。

日本設計 佐藤

- ・ 基本的に免震装置は水平移動のための安全確保のための計算をしている。上下動については差が無い。上下動に対しても安全な設計となる。

日本設計 成田

- ・ 建物全体で上下動に対して検討する。免震装置は水平移動が主となるので、基本的には横移動のみということをご理解いただきたい。

第5回市民検討協議会終了 (12:00)